

その他の意見

Q 24年産用種子は、馬鹿苗病の発生が多かった。種子検査を厳格にするとともに、消毒済種子の使用方法を再度指導してほしいです。

A 同じ消毒種子でばか苗発生が無い農家もいることから、種子の検査の問題よりも、低温で浸種した方で、水温が低すぎて薬液が種子に浸透しきれなかったことが、主な原因かと思われます。低温時には、保温対応するなどの基本技術の遵守が一番の対策であることから、JAでは今後も種子配布時と外務デーでのチラシ配布を行い、注意喚起してまいります。

Q JAあきた白神米として肥料・農薬の使用を統一しながら、高品質を保てるよう営農指導を強化してほしい。

A 肥料の推奨体系については、注文書にも載せておりますので参考にしてください。稲作部会や稲作講習会等を通じて周知してまいります。

Q 農作物への猿による被害が多発しており、JAでも行政と連携して対策を積極的に考えてもらえないものでしょうか？

A JAも参加している町対策協議会が秋田県と連携しながら対応してまいります。

Q 農機展示会を、休日も開催してほしい。

A 数年前に金・土曜日、展示会を開催した時もありましたが、参観者が平日と比べても変わらないため、現在、平日に開催しております。今後、要望が多くあれば休日の展示会も検討してまいります。



▲担当者による詳しい説明で、様々な農機具を紹介

Q 常盤の精米機が長期間故障で利用できない。早急に修理をするか、もしくは更新してほしい。大変不便をしている。

A 現在故障中で老朽化のため部品も手に入らない状態です。常盤地区のお客さまには大変自由をかけておりますが、次年度計画で精米機の更新を検討してまいります。

Q 昨年、組合員の遊休機械の調査をし、そういった機械の有効活用を図る計画であったが、現在の状況はどうなっていますか？

A 農機具の保有台帳は、今年度完成に向けて整理を進めております。保有台帳を基に、遊休農機の有効活用を図ってまいります。

Q 秋の座談会は、米の概算金決定後に開催してほしい。

A 全農の米の概算金については、例年他県の状況を踏まえ、慎重に決定しているため、現在は9月中旬頃に決定しております。もっと早い時期に決定するように全農へ働きかけをして参ります。中旬以降の開催となれば稲刈りの繁

忙期と重なるため、可能な限りの日程調整を検討します。

Q 農機資金のキャンペーンは、今回の交換会で予約購入したもののだけが対象なのでしょうか？

A 対象者は、8月30～31日開催の農機展示会と第135回秋田県種苗交換会で購入した組合員で、平成25年10月末までに借入される方となります。皆様のご利用をお待ちしております。

◀組合員ニーズに適したキャンペーンを実施

第135回 秋田県種苗交換会能代市開催記念

農業機械購入資金 特別金利キャンペーン!!

《キャンペーン期間》8月28日(土)～12月31日(木) 実施中!!

変動 年 1.35%

保証料別途：0.55% (平成24年8月28日現在)